



## ビフォー&アフター

校長 国友 靖夫

「何だ、前回と似たタイトルじゃないか」そう思ってくださった方は、学校だよりをよく読んでくださっている方。前号のタイトルは、「劇的ビフォー&アフター」でした。今回は、中身がちよっと違います。

6月25・26日と、6年生が修学旅行に出かけました。雨に降られる時もありましたが、大きな天候の崩れもなく、無事2日間の日程を終え、帰ってきました。

6年生は、この日を迎えるまでに、折り鶴集会を企画したり、様々な場面でのあいさつを考えたりと、実行委員を中心に取り組んできました。今月10日に予定されている平和集会も、実行委員の子どもたち中心に開催されます。修学旅行中の生活も、班長を中心に話し合い、時には意見がぶつかることもありながらも、過ごしていました。

その修学旅行の出発式で、私は次のように言いました。

修学旅行や運動会といった取り組みは、授業の時間を削って取り組みます。それだけ貴重な時間を削って取り組むのなら、やる前とやった後で、何かしらの成長があるべきです。

ただ、「(修学旅行に行って)楽しかったね」だけなら、修学旅行に行く必要はありません。どうぞ、家族や仲のいい友達と行ってください。

そうじゃなく、例えば、「困っている子に声をかけられるようになった」「それまであまり話せなかった子と話せるようになった」といった姿が見られるようになったのなら、修学旅行も意味があります。

修学旅行が成功だったかどうかの結果は、すぐにはわかりません。1か月・2か月经って、見えてきます。この修学旅行が成功だったかどうか、先生は、皆さんの行動を見守らせてもらいます。

修学旅行中、部屋のゴミを拾う姿・スリッパを揃える姿・(自由行動で、遅れた)友だちに声をかける姿・食事の時にグループのメンバーの水(お茶)を入れてあげる姿……、たくさんの「集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度」(「学習指導要領『特別活動』目標より引用)が見られました。

学校の現場では、このように、学級活動や委員会活動・学校行事といった特別活動を上手く活用して、子どもたちの成長を促す働きかけをしていかなければなりません。

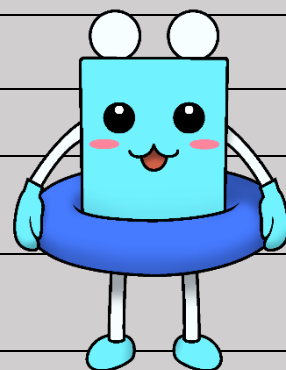
子どもに“任せる”場面を設けたり、「お楽しみ会で何をしようか」ととことん話し合う時間を設けたり……といった、教師の、何かしらの仕掛けが必要になります。

そして、特別活動を通して子どもたちが見せてくれる成長の瞬間があります。その瞬間に立ち会えることは、教師として、至福の瞬間でもあります。

今後も、自然学校や運動会・音楽会といった場面で、多くの“至福の時間”が訪れることを願っています。

## 7月行事予定(【 】は下校時刻です。①～⑥は学年を表します)

1	火		16	水	自然学校(5年生) 給食終了 【12:55下校】
2	水	自然学校事前学習(5年生)	17	木	自然学校(5年生) 大掃除 【12:25下校】
3	木	個人懇談会① 【13:10下校】	18	金	自然学校(5年生) 終業式 【11:30下校】
4	金	個人懇談会② 【13:10下校】 スクールカウンセラー勤務日	19	土	コミュニティ末広夏まつり
5	土		20	日	コミュニティ末広夏まつり予備日
6	日		21	月	夏季休業日
7	月	個人懇談会③ 【13:10下校】	22	火	
8	火	個人懇談会④ 【13:10下校】 ALT	23	水	
9	水	ALT 【14:05下校】	24	木	
10	木	平和集会 代表委員会	25	金	
11	金	【13:10(⑤)】	26	土	
12	土		27	日	
13	日		28	月	
14	月	自然学校(5年生) CAP(3年生)	29	火	
15	火	自然学校(5年生) 一斉下校 【14:30下校】	30	水	
			31	木	



### 8月の予定

12日(火)～15日(金)学校閉鎖日      29日(金)始業式【11:30下校】

7月のスクールカウンセラー勤務日は、4日(金)です。  
相談を希望される方は、教頭までご連絡ください。